

静岡県

定数： 9 名

立候補者数： 11 名



氏名 渡邊 勉

都道府県士会 静岡県

年齢 38

勤務先名称 富士脳障害研究所附属病院



氏名 和泉 謙二

都道府県士会 静岡県

年齢 60

勤務先名称 共立蒲原総合病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】

2016年6月 第20回 静岡県理学療法士学会 厚生局長
 2017年7月 第20回 静岡県理学療法士会 公開講座 企画局長
 2019年6月 第23回 静岡県理学療法士学会 公開講座局長
 公益社団法人 静岡県理学療法士会 社会局 理事
 2020年3月 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員
 2021年6月 公益社団法人 静岡県理学療法士会 広報局 理事（2期目）
 2022年3月 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員（2期目）
 2023年6月 公益社団法人 静岡県理学療法士会 広報局 理事（3期目）

【立候補の趣旨】

現在、私は静岡県理学療法士会にて広報局の理事を行っております。広報局は、広報誌「ゆまにて」とホームページを二本の柱として、静岡県理学療法士会活動を広報しています。また、サイトと連動したSNS（LINEやYouTubeなど）やメルマガによる広報活動を始めており中堅から若手への広報にも力を入れています。多種多様な情報が飛び交う中で何を選択するのか、情報の取捨選択が非常に重要な社会になっています。間違った情報を選択して実践し、患者様・地域の皆様の不利益になりかねません。発信する側として、理学療法士に寄与できる、信頼できる内容を広報することは責務と痛感しております。

変化＝成長、現状維持＝衰退と私は考えています。今の時代の変化に柔軟に対応していくことが今後の成長のチャンスではないかと思えます。現状を維持しているだけでは何も変わりません。出来ることを行うだけでなく新たな試みにも取り組んでいき、会員のため、県民や国民のためになるようご協力していく所存です。皆様のさらなる発展と飛躍のために少しでもお力を貸せればと考えております。ご支援をよろしくお願い致します。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会役員歴】

平成26年度～代議員、平成25年度 指定規則検討特別委員会、平成26年度 士会強化検討特別委員会、平成27～28年度 将来構想戦略会議災害対策本部、平成29年度～現在 議事運営委員会、令和元年度 業務指針・ガイドライン検討委員会

【士会役員歴】

平成元～2年度 広報部長、平成3～6年度 研修部長、平成7～8年度 生涯学習部長、平成9～10年度 教育部長、平成11～12年度 学会部長、平成13～14年度 生涯学習部長、平成15～16年度 教育局長、平成17～18年度 規約審議委員長、平成19～24年度 事務局長、平成25年度～令和2年度 会長、令和3年度～現在 監事。第37回東海北陸理学療法学会大会長（令和3年度）。

【立候補趣旨】

平成元年以降、静岡県理学療法士会役員を務める中で特に平成19年以降の事務局長3期6年、会長4期8年の計14年間は士会組織力強化に関わる業務として法人格の取得（中間責任・一般社団・公益法人）、専用事務所設置や専従職員の雇用、他団体との協力関係構築、リハ専門職団体協議会の立ち上げ、J R A T地域支部設立への協力等、多くの経験をさせていただきました。

行政との関係構築では、県や市町との協業の中で地域包括ケアシステムにおける理学療法士としての位置づけを明確にするため働きかけつつ、加えて将来にわたって理学療法士が継続的に雇用されるため、関連諸団体との関係構築や行政への働きかけ、国会議員・県議会議員との情報交換を含め活動して参りました。

多様性社会を迎え、今まさに理学療法士の「価値」が問われる時代となりました。協会組織と会員がそのイメージを共有できるよう橋渡しの役を担いたく立候補いたします。



氏名 瀧 和人

都道府県士会 静岡県

年齢 46

勤務先名称 山の上病院



氏名 森下 一幸

都道府県士会 静岡県

年齢 49

勤務先名称 浜松市リハビリテーション病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

- 【日本理学療法士協会の活動歴】
- ・令和2年4月～現在 代議員
- 【静岡県理学療法士会の活動歴】
- ・平成15年7月～平成16年3月 社会局 広報・PT週間部長
 - ・平成23年4月～平成24年3月 教育局 研修部長
 - ・平成25年4月～平成30年3月 生涯学習局 理学療法士講習会部長
 - ・平成29年4月～平成30年3月 中部地区長
 - ・平成31年4月～ 専務理事（現在3期目）

この度、3期目の代議員に立候補させて頂きます瀧和人と申します。私はこれまで公益社団法人静岡県理学療法士会で研修部長・理学療法士講習会部長として各種研修会の企画・運営、また県士会中部地区長として若い会員の方々と関わる機会を多く経験させていただきました。平成31年からは専務理事として静岡県理学療法士会の組織体制の強化と県士会員の動向を見守る立場にあります。

今、協会では新入会員の減少や退会者・休会者の増加による組織率の低下が喫緊の課題であると認識されております。これは士会の課題でもあり様々な取り組みが思案され実践されております。会員の年齢構成も20代・30代がメインとなり、今後の活動の目線はこの年代を中心に進めていく必要があります。「言っても無駄だし・・・」と諦めの声だけが残らないように、我々の世代が次世代のために必死に動く・働くタイミングだと認識しております。

私は静岡県理学療法士会の事務局長として、また会員の代表である代議員として皆様の声を持ち届けていく事が使命だと思っております。

今後とも会員皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

- 【協会・士会役員歴】
- 2003年 職能局 医療保険部長
 - 2005年 学術局 学術誌編集部長
 - 2015年 学術局 専門領域部長
 - 2019年 学術局長
 - 2021年 学術生涯学習担当常務理事
 - 2023年 会長

【立候補の趣旨】

2003年より20年にわたり県士会事業に携わってきました。これまでの経験を活かし、協会と県士会の橋渡しとなり、会員の声を確実に協会に届けることで医療・福祉・介護・保健の各領域で静岡県理学療法士会の会員が活躍し、自信とやりがいを持って前向きに資質向上に努められる組織の醸成を目指します。特に、2022年度に新生涯学習制度に変わったことで学習要領が複雑になり、理解に難渋している会員も多いかと思えます。会員が参加しやすい環境を提供出来るよう協会に求めるとともに、生涯学習のみならず、協会、士会が関与する事業参加への履歴を個人の実績に反映できるように働きかけます。経験値として自身のキャリアにつながる生涯学習の仕組みを提案していきます。私たちが納める年会費がどのように使われているか、また私たちのキャリアや暮らしに良い影響をもたらす協会であるかといった監査的役割も果たして参ります。会員が参画しやすい協会であるよう代議員として、しっかり声を上げて参ります。よろしくお願いいたします。



氏名 久野 加世子

都道府県士会 静岡県

年齢 42

勤務先名称 公立森町病院



氏名 川村 浩二

都道府県士会 静岡県

年齢 56

勤務先名称 富士宮市保健福祉部健康増進課

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

急速な少子高齢化や医学の進歩の中で、私達、理学療法士へ求められる社会的ニーズも変化し、地域包括ケアシステムの中では、専門職として多職種と協働できる柔軟性を持ち合わせた人材が求められています。そんな今、私達理学療法士にとって自らのライフスタイルに応じてさまざまな場所で活躍できる専門職となっていくチャンスとも捉えられます。また、昨今、総理大臣のスピーチから企業の不祥事謝罪会見まで、世界中で「多様性」という言葉を聞く機会が増えました。私たちの身近な多様性の1つに「性別」があります。女性の大統領の国は幸福度が高いことや女性の管理職比率が高い企業が成長することはデータでも証明されており、人材が多様な国や企業は持続的に発展すると言われています。これは女性が活躍しているからではなく、性別や年齢に関わらず多様な人材が活躍できるシステムやマインドがあるからだだと思います。

私は、日本理学療法士協会の役割としては、多様な働き方に応じたキャリア開発を進めていく必要があると考えます。社会から必要とされる人材の育成と会員の皆様が、性別や年齢関係なく、働きやすく活躍できる環境を整備することを目標とし、代議員へ立候補させていただきます。よろしくお願いいたします。

<協会・士会役員歴>

- 2019年～静岡県理学療法士会理事（3期）
- 2020年～日本理学療法士協会代議員（2期）
- 第25回静岡県理学療法士学会副会長

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

H27～：静岡県理学療法士会理事（R3～副会長）
 職能局長、職能公益事業担当常務理事、学術生涯学習担当常務理事
 第23回静岡県理学療法士学会監事、創立50周年記念事業準備委員長、倫理委員会委員長、倫理委員会・政策作成特別委員会・選挙管理委員会担当理事を経験

H29～：日本理学療法士協会代議員

静岡県理学療法士会では、副会長として協会からの様々な要請・依頼について対応しています。現在、新生涯学習システムへの対応・市町との連携・会員の倫理意識の向上等様々な検討課題が山積しており協会との共同は欠かせないと感じています。そのため協会の理事会等を傍聴し協会の動きについて注視しています。そこで感じるのは、会費を原資として活動しているという意識が希薄になっていくということです。新生涯学習システム改修で概算見積もりもなく億単位のメンテナンス費用の積み立ての話が突如出てきたりスクラップアンドビルドで予算を捻出すべき所を法人にとって一番の議決機関である総会を軽視する意見が提出されたり、過去に創意工夫で各士会と動いていた協会は影を潜めています。社会情勢の変化により理学療法士の職域も多種多様になりましたが理学療法を必要とする人のQOLを高めることは変化していません。急増する理学療法士の質の向上も、喫緊の課題です。ライフワークバランスの観点からも、会員が安心して働き続けられる環境づくり等、会員が日頃感じていることを協会に伝える役割を果たしたいと思います。代議員の使命である、総会に提出された議題の討議・議決については、会員の声を協会に伝えるべく、是々非々で対応していきます。ご支援よろしくお願いいたします。



氏名 菊池 和幸

都道府県士会 静岡県

年齢 43

勤務先名称 ナーシングステーションみや



氏名 小山内 隆

都道府県士会 静岡県

年齢 60

勤務先名称 熱川温泉病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

<協会・士会役員歴>

平成25年～ 一般社団法人 静岡県理学療法士会理事
平成26年～ 公益社団法人日本理学療法士協会 静岡県代議員（5期）
平成29年～令和3年 公益社団法人 静岡県理学療法士会副会長
令和3年～ 公益社団法人 日本理学療法士協会 役員報酬等委員会委員（2期）
令和5年～ 公益社団法人 静岡県理学療法士会副会長

<立候補趣旨>

6期目の代議員に立候補させていただきます、静岡県理学療法士会の菊池和幸でございます。私は平成25年より静岡県理学療法士会理事、静岡県理学療法士会副会長、日本理学療法士協会役員報酬等委員会（2期）を務めさせていただいております。令和6年度トリプル改定では、地域医療・介護分野を担うべき我々にとって非常に厳しい改定となり、将来、地域へ職域を拡大していくはずの理学療法士の未来が危ぶまれていると感じています。社会保障制度における理学療法士の存在意義を強く示し、確固たる地位を確保していくこと、そして何よりも若い会員の将来を守ることこそ我々代議員の使命であると考えております。

「実行力」と「結果」。常に攻めの姿勢で、日本理学療法士協会の発展と職能団体としての底上げのために、そしてこれからの時代を担う若い理学療法士のために、微力ながら協力させていただきたいと思い立候補させていただきます。皆様の、御支援、御協力を何卒宜しくお願い致します。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成27年～平成30年 日本理学療法士協会代議員
平成25年～平成28年 静岡県理学療法士会 理事 社会局長
平成29年～平成30年 静岡県理学療法士会 常務理事 学術局長

昨年の春、日本理学療法士協会の会長候補者選挙が行われたことを覚えているでしょうか。会長候補者選挙史上で初めて三者による選挙が行われました。現職の会長・副会長・協会理事による選挙で、YouTubeにて討論会が公開されるなど始めて尽くしの選挙でした。このことから、日本理学療法士協会が変革の時期にきているように感じています。現在、話題になっている診療報酬改定でも、医療関係職種への賃上げに向けた評価が新設されるなど、我々理学療法士を取り囲む環境は日々変化しています。これからの理学療法士は周囲の変化を迅速に把握し、柔軟に対応できる姿勢が必要です。私事ですが、昨年の夏に還暦を迎えました。勤務していた熱川温泉病院を定年退職しましたが、嘱託職員として役職は変わらずに勤務しております。還暦後はリハ部門の管理・地域リハ事業の推進ともに以前よりも俯瞰で捉えられるようになった気がします。現在の課題を分析し対策を立案していく過程で、数年先の事業や人員も組み込んだ対策を進めることが出来るようになりました。以前、日本理学療法士協会代議員を2期4年間、静岡県理学療法士会理事を3期6年間勤めましたが、その頃は知識・意識不足のため満足いく結果を残すことが出来なかったと深く反省しています。しかし現在ならば、スタッフのやりがいや参加者の満足度の高い事業を、より迅速に効率が良く効果的な展開を出来るものと考えています。その意識をもって変革期を迎えている日本理学療法士協会の事業運営に関わっていききたいと思い、今回代議員選挙に立候補した次第です。より多くのことを把握し俯瞰の姿勢で、賀茂圏域の地域リハ事業を進めつつ、地域の住民やリハスタッフのために活動していきたい。その延長として日本理学療法士協会の事業運営に関わっていききたいと考えております。ご支援のほどよろしくお願い致します。



氏名 高木 亮輔

都道府県士会 静岡県

年齢 38

勤務先名称 J A 静岡厚生連 中伊豆温泉病院
通所リハビリテーション リ
ハッピー



氏名 小林 敦郎

都道府県士会 静岡県

年齢 51

勤務先名称 順天堂大学医学部附属静岡病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】

<静岡県理学療法士会>

2017年 6月～ 静岡県理学療法士会 理事

<日本理学療法士協会・日本理学療法学会連合>

2019年6月～ PT協会 新人研修ガイドライン作成委員会

2021年9月～ PT協会 登録理学療法士後期研修 実地研修教材検討部会

2022年8月～ PT協会 指定規則等検証部会（臨床実習の在り方検討部会）

2021年4月～ 日本理学療法教育学会 理事

【立候補の趣旨】

私が今回、代議員に立候補した理由として、静岡県士会員の協会活動に対する期待と不安をしっかりと協会に伝え、また協会の今後の事業展開に関して情報を共有する橋渡しを適切に実行していきたいと思うからです。

これまでも静岡県の代議員として3期に渡り、活動させていただきました。先日の協会役員選挙、協会長選挙を経て、新しい体制として期待を膨らませながらスタートしたにも関わらず、静岡県の会員からは混乱や困惑、不安の声が多く寄せられておりました。協会の体制も制度も目まぐるしく変わる一方で、募る不安・不満をどう処理してよいか分からないのが県士会員の皆さまの実情かと思えます。その結果が会員の退会や休会、新規未入会者の増加に繋がっており、県士会としても組織率の低迷やマンパワーの不足に繋がっているところが現状です。これから2040年問題に向けて理学療法士は組織としての成長・発展、地位の確立をしっかりと推し進めていくべき時期に入ってきております。協会と県士会員の皆さまとの間で、十分なコミュニケーションが図れるよう代議員としての務めを果たさせていただき、今一度、協会と県士会員の皆さまとの間に確固たる信頼関係を築き、理学療法士の団体として会員ひとりひとりの活躍の場や地域貢献を十分に支援してもらえらる組織になっていただくよう働きかけていきたいと思ひ立候補いたしました。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

<（公社）静岡県理学療法士会>

2013年～2017年 公益事業局メディカルサポート部部长

2015年 社会局公開講座実行委員長

2017年～2021年 理事 予防局長

2017年～2021年 学術局専門部会 運動器系専門部会長

2021年～現在 常務理事（職能公益事業担当）

2023年 第26回静岡県理学療法学会大会大会長

<（一社）日本スポーツ理学療法学会>

2023年～現在 理学療法士の超音波画像診断装置使用に関する検討委員会委員

これまで士会の役員として約10年間、公益事業を中心に事業に携わってきました。協会発信であった推進リーダー研修会や管理者研修の開催、理学療法の日公開講座などを実施、また士会独自の事業として、スポーツ支援を中心としたメディカルサポート活動、高齢者を対象とした介護予防事業、産後・産業事業など多岐にわたり事業展開してきました。近年では理学療法に対するニーズも多様化してきており、予防事業を中心とした様々な期待が寄せられています。そのような中、協会との連携は不可欠であります。協会も時代のニーズに対応すべく様々な事業を検討されておりますが、士会から独自の事業を発信していくことも必要であり、そのような関係が今後の理学療法士の活動全体に影響を及ぼし、協会と士会が一体となって取り組むことが、国民の健康福祉に寄与し社会貢献に繋がっていくと思ひます。また、近年の会員組織率の低下も大きな問題であり、当士会でもその例外ではなく会員数の伸び悩み、休会者の増加があり、その低下が各事業の参加率の低下、人材不足になっています。このような問題も協会と士会がしっかりと連携をとって、その方向性や改善策を検討して行かなくてはならないと思ひます。そのような思いから、士会会員皆様のお声を協会に届け、協会とも連携をとって行くためにも、今回代議員に立候補させて頂きました。ご支援のほどよろしくお願いいたします。



氏名 俵 祐一

都道府県士会 静岡県

年齢 48

勤務先名称 聖隷クリストファー大学

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

この度、代議員に立候補させていただきました聖隷クリストファー大学理学療法学科の俵祐一と申します。

私はこれまで、臨床現場において呼吸リハビリテーションに主に従事してきたこともあり、2000年より静岡呼吸リハビリテーション研修会の運営スタッフや講師として関わり、2020年度からは運営責任者として、現在も学術局専門部会の事業として企画運営に取り組み、静岡から呼吸リハビリテーションの重要性を発信しております。

2022年度からは日本呼吸理学療法学会の理事を務め、呼吸理学療法の発展に貢献できるよう取り組んでおります。

また、研究開発支援専門部会にも2017年度から2020年度まで副会長として関わり、若手理学療法士の方々への臨床研究の取り組みについて支援を行ってまいりました。

現在は2025年度に予定されています第28回静岡県理学療法学術大会の大会長を拝命し、大会の成功に向けて準備を進めているところです。

今後は、教育・研究・臨床の全てにおいて内部障害系だけでなく、理学療法全般の発展に寄与したいと頑強な決意を持っております。そのため微力ではありますが、静岡県から全国へ会員の皆様の声を届けることに貢献したく代議員に立候補いたしました。何卒、よろしく願い申し上げます。